

しぜん通信

昆虫に出会う季節



「馬の尾」の
ような産卵管

ウマノオバチ

なかなか姿をみないめずらしいハチですが、体からのびる“長い糸のようなもの”が目印になって、飛んでいるとすぐにわかります。

この長い糸のようなものは産卵管で、木の中に差し込んでカミキリムシの幼虫に卵を産みつけるようです。産卵管は体長の7~9倍にもなります。

生態は詳しくわかっていないようですが、自然が残っている雑木林でないと生息できないようです。

産卵時期の4月下旬~5月下旬ごろ
コナラやクヌギなどの木が多い
ビオトープが出会いのチャンスです。



オナガアゲハ

スタジアム周辺の
ツツジにはアゲハチョウ
がよく訪れます。

チョウたち

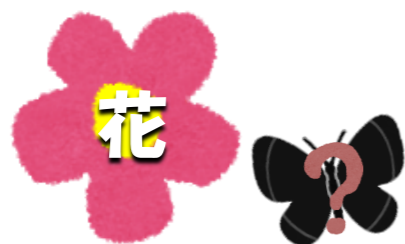
真夏、真冬をのぞき、エコパのビオトープではさまざまなチョウが見られます。その数約50種類。春は多くの花が見られるため、花の蜜をもとめてたくさんのチョウがまいます。

いろいろな場所で虫を探してみよう！どんな虫に出会えるかな？

葉っぱ



花



石のうら



樹皮



水面



水の中

